

九州・沖縄地区の3月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比14.9%減、累計では鹿児島県が2.5%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた5年度月別・地区別出荷実績によると、3月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比14.9%減の合計73万4,006m³。

3月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比12%減の24万2,037m³、「佐賀県」同33.4%減の2万7,242m³、「長崎県」同7.9%減の6万9,269m³、「熊本県」同15.6%減の11万8,113m³、「大分県」22.9%減の7万2,501m³、「鹿児島県」同13.9%減の9万1,037m³、「沖縄県」同13.3%減の11万3,807m³。九州6県と沖縄すべて昨年より減少した。

5年度累計では、「福岡県」が前年度比7.5%減の296万855m³、「佐賀県」同34.9%減の30万4,631m³、「長崎県」同1.9%減の89万902m³、「熊本県」同13.5%減の132万7,333m³、「大分県」6.2%減の81万6,750m³、「鹿児島県」同2.5%増の121万1,617m³、「沖縄県」同4.8%減の141万3,352m³。鹿児島県が好調に推移している。